

近畿部会 市民公開講座 「明日も健やかに生きるために」 を開催して

第110回日本薬理学会近畿部会 会長 河野茂勝

近畿部会における市民公開講座が2006年11月10日(金)に、第110回日本薬理学会近畿部会の開催に合わせて、同部会会場であるば・る・るプラザ京都(京都駅前)で開催されました。今回は、『明日も健やかに生きるために』と題して、滋賀医科大学・精神医学講座・教授の大川匡子先生に「快適な生活のための睡眠学」を、そして京都薬科大学・臨床薬理学教室・教授の中田徹男先生に「メタボリック症候群からみた生活習慣病の予防と治療」をご講演していただきました。本公開講座は(社)日本薬理学会の主催で、共催は京都薬科大学オープンリサーチセンター、後援には京都市および京都薬科大学になって頂きました。

日本薬理学会としての市民公開講座への取り組みは、本学会員の研究成果を広く社会に還元し、薬の正しい使い方や副作用の防止などに繋げるため市民への啓発活動として重要な位置づけにあります。本公開講座開催に際しては、広報委員長の星薬科大学・教授 鈴木勉先生のご協力を賜るとともに、事前の広報活動については、近畿部会の前広報委員である大阪薬科大学・教授 玄番宗一先生に懇切かつ詳細にご指導頂き、京都新聞、京都リビング新聞、産経新聞、日経新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、薬事日報の各新聞社の本社あるいは京都支局に記事の依頼をするとともに、NHK、KBS京都、エフエム京都、京都リビングエフエムおよび洛西ケーブルビジョンにも放送の依頼をしました。また、京都府病院薬剤師会、京都府薬剤師会、滋賀県病院薬剤師会および滋賀県薬剤師会に依頼して、京都府内および滋賀県内の一部の病院および薬局に「チラシ」を置いて頂くか、あるいは掲示して頂きました。

当日は、好天にも恵まれ、平日(金曜)の午後2時半から(5時まで)という時間にも拘らず、約180名の参加者にお越しいただきました。本市民公開講座の責任者として河野の挨拶に続き、京都薬科大学オープンリサーチセンターのリーダーである竹内孝治教授に司会をお願いし、最初に大川先生のご講演を頂きました。大川先生は我が国における睡眠学の第一人者であり、人が快適な生活を営む源の一つとして、睡眠の重要性を分かりやすくご説明頂き、近年の多様化する社



ご講演中の大川匡子先生



ご講演中の中田徹男先生

会環境や生活環境の変化により、多くの一般市民が何らかの睡眠障害を有していること、また快適な睡眠を得て質の高い生活を営んで行くための具体的な方策を丁寧にご説明頂きました。引き続き、中田先生のご講演を頂きました。中田先生は高血圧をご専門とされ、基礎と臨床の両方で活躍しておられます。中田先生からは、最近大きな社会問題となってきたメタボリック症候群とはどのような病気か、またその予防および治療法に関して親しみのこもった語り口調と分かりやすいスライドでご講演頂きました。

いずれの講演内容も、参加された一般市民の皆さんには大変興味を持てる内容であったものと思われます。その証拠に各講演の後の15分間の質問時間には、司会の竹内先生が質問を遮らなければならないほどの多くの質問がなされました。いずれにせよ、参加者に好評であったものと喜んでおります。

本市民公開講座の開催は、(社)日本薬理学会の社会活動の一環として、一般市民の皆様にとってくすりの正しい使い方や副作用の防止に繋がるような啓発活動の一助になったことを祈念致します。

最後になりましたが、本公開講座の開催にあたり、ご指導およびご協力頂きました関係の先生方、ならびにマスコミの各社にこの場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。(河野茂勝 Shigekatsu Kohno)